



地域の中で、共に学び、共に育つための 障害理解授業

本校では、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現に向けて、特別支援教育や障害への理解促進を目的とした障害理解授業を推進しています。

実施に当たっては、他の特別支援学校と連携・協力し、小学1年生から6年生まで各学年に合わせたメニューを考えています。6年間で様々な障害の種類や特性などを学び、障害に関する理解や具体的なかかわり方について認識を深めること、そして互いの違いを認め合い、思いやりの心を育むことができるように、実施する学校の先生方と協力しながら授業を行います。実際の交流活動とセットでの実施はさらに効果的です。PTAやみんなの登校日などでの実施、また小学生、中学生だけでなく、高校生、一般等にも対応しています。

1年 「いろいろな人がいるよ」

みどり学園の紹介、体験活動、
友達をつくるポイント

<担当：天王みどり学園>

6年間、計6回の授業で、様々な障害の種類やかかわり方、思いやりなどを学ぶことができます

2年 「誰のための工夫かな？」

身近な工夫、体験活動、
友達を増やすポイント

<担当：天王みどり学園>

3年 「耳の不自由な人を理解しよう」

基礎知識、疑似体験、かかわり方の工夫

<担当：聴覚支援学校>



4年 「目の不自由な人を理解しよう」

基礎知識、疑似体験、かかわり方の工夫

<担当：視覚支援学校>

5年 「手足や身体の不自由な人を理解しよう」

基礎知識、疑似体験、かかわり方の工夫

<担当：秋田きらり支援学校>

6年 「見えない困り感のある人を理解しよう」

感じ方の違い、疑似体験、「きこう」の合言葉

<担当：天王みどり学園>

子どもの感想

・相手が何に困っているのかを理解することがとても大切だと思いました。(小6)

担任の先生の声

・いろいろな友達の個性を受け入れようとする言動が増えた。
・「自分とちょっと違う」ということを「相手の個性」と捉え、寛容に接する姿が見られた。



秋田県立支援学校天王みどり学園

教頭：佐川 透 地域支援部：遠藤 美和子

TEL：018-870-4611 FAX：018-870-4612

E-mail：midori-s@akita-pref.ed.jp

ホームページ www.midori-s.akita-pref.ed.jp

